



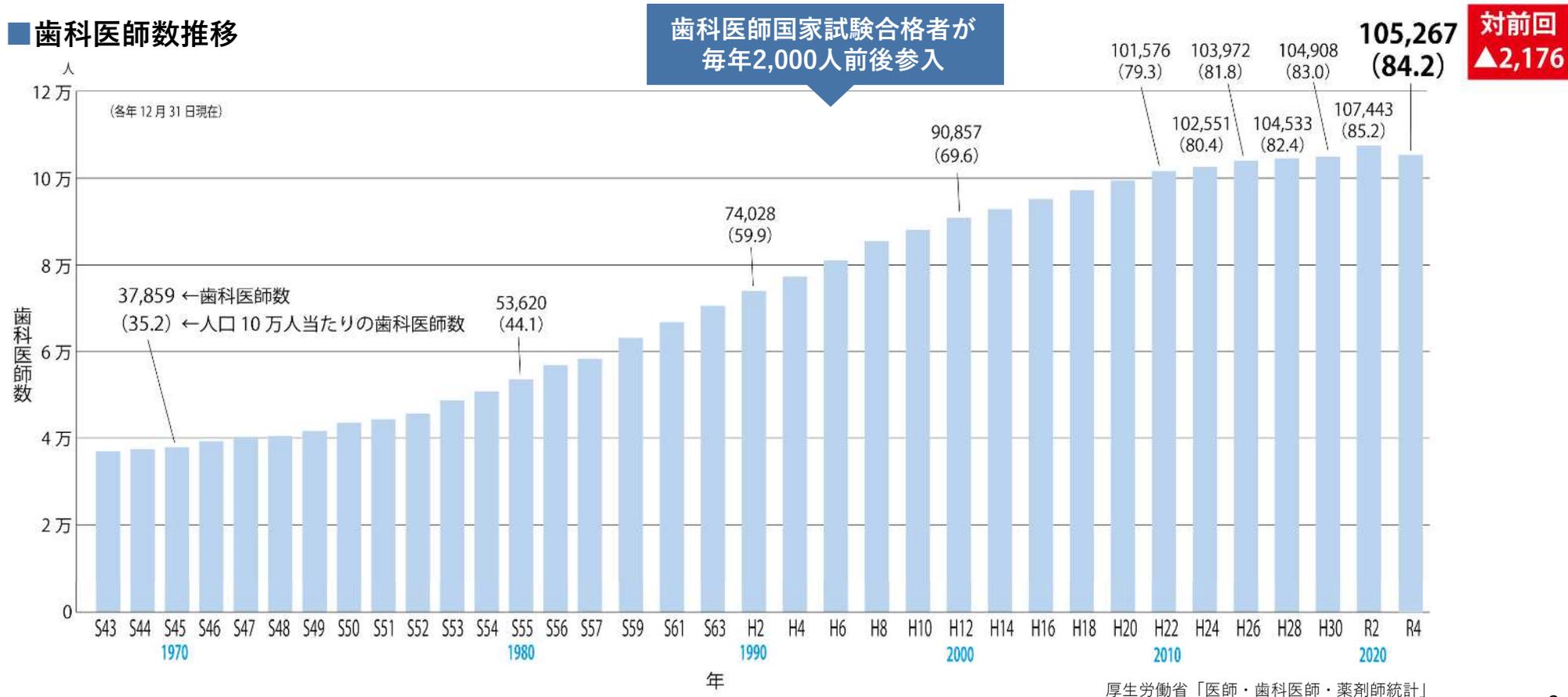
一般社団法人 日本私立歯科大学協会
第15回 歯科プレスセミナー

歯科医師の現状

～歯科医師へのニーズの高まり～

実情：歯科医師数は約10万5千人。 年々増加してきたが、令和2年をピークに、初めて減少に転じる

■ 歯科医師数推移



日本の歯科医師数は世界的に見ると過剰ではない

人口当たりの歯科医師数の比較では、

日本の歯科医師数は

OECD加盟38国の中で19位

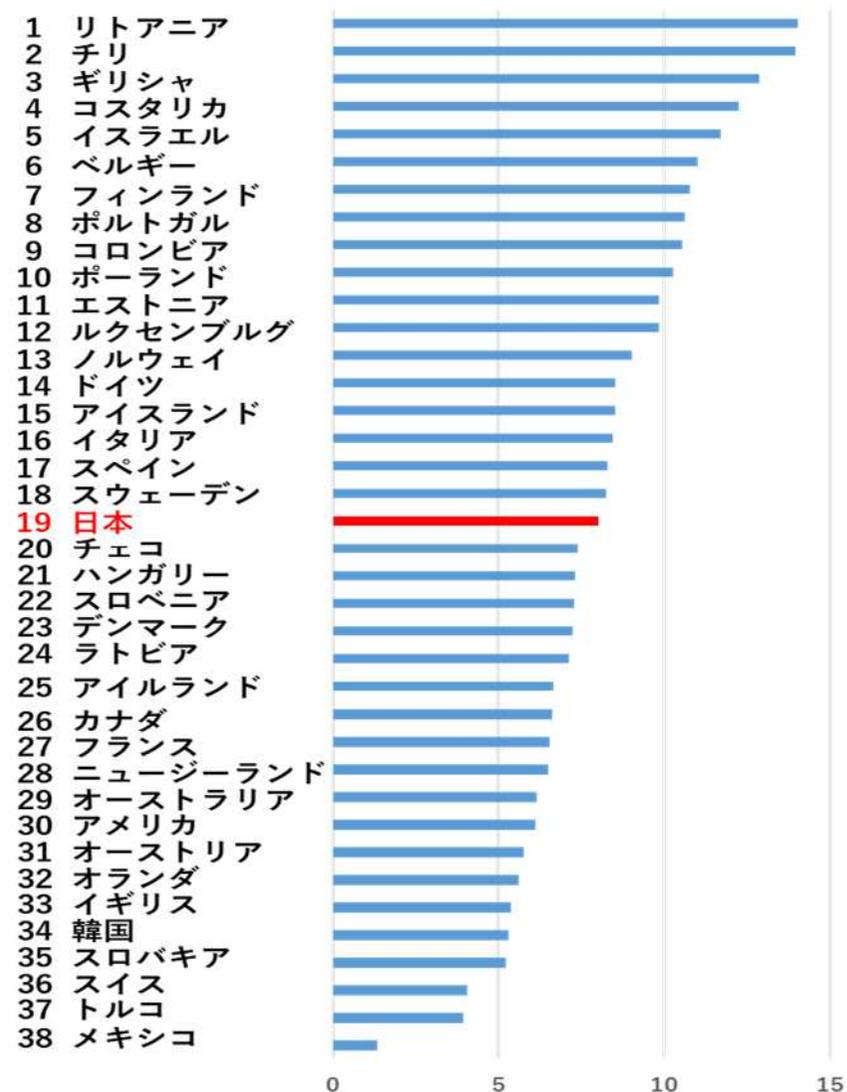
世界では中位であり、

決して歯科医師が過剰だとはいえず、

今後はさらに減少していこうとしています。

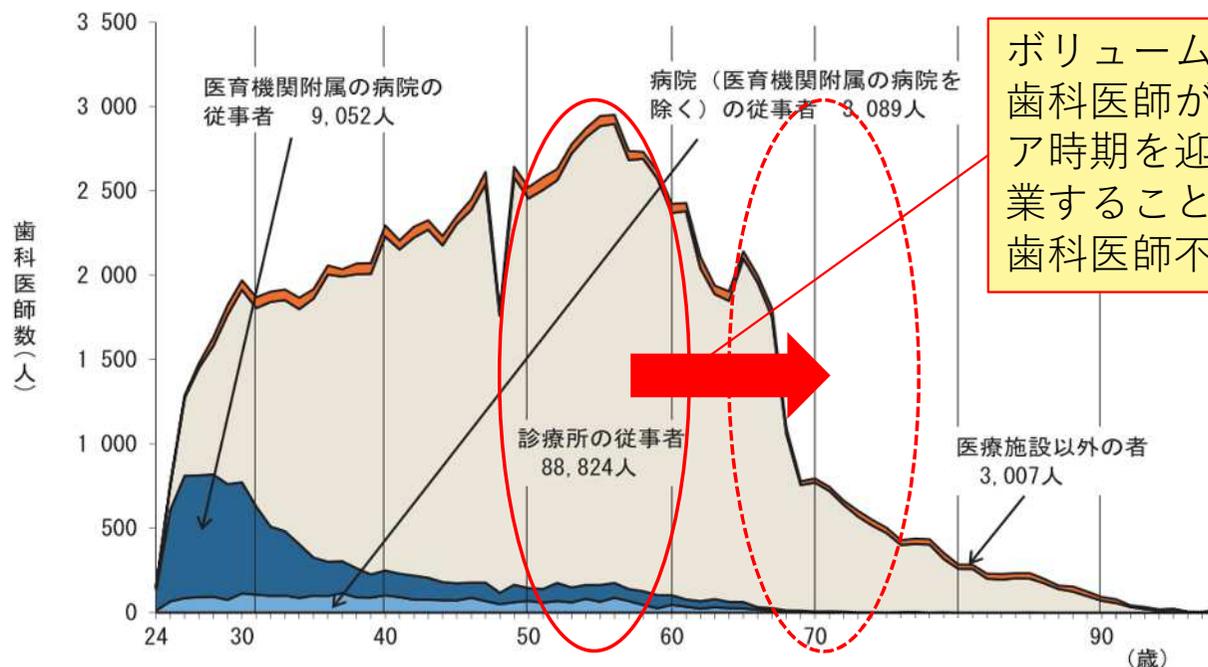
WHOのホームページでは [Global Health Observatory \(GHO\) data](#) という世界各国の医療・病院・クリニック・健康に関する統計データを公表しています。

■ OECD加盟国-人口1万人当たりの歯科医師数（2022）



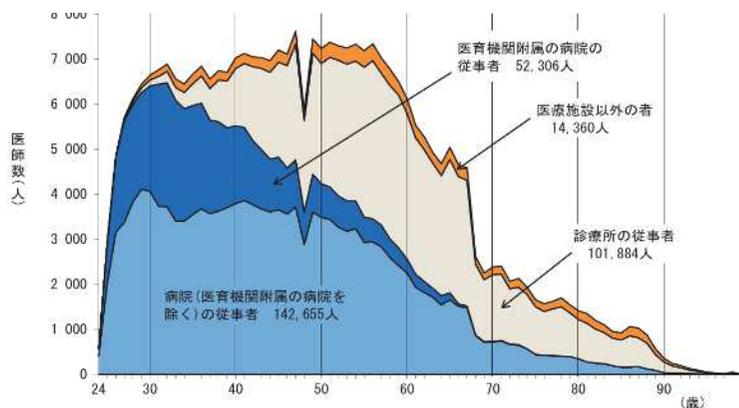
医療職の施設種別・年齢別構成

歯科医師

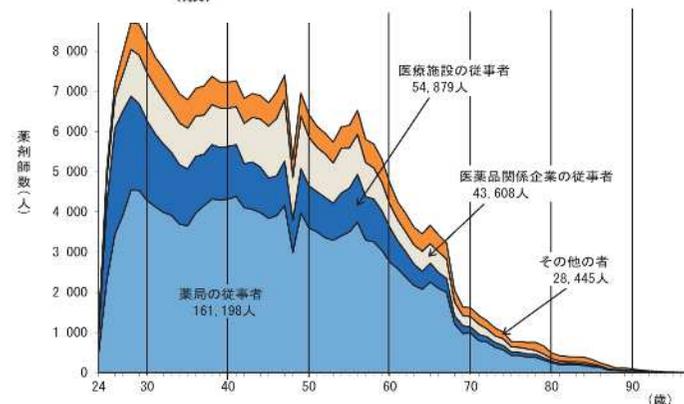


ボリュームゾーンである50代の歯科医師が20~25年後にリタイア時期を迎えて大量に退職・廃業することで、2050年前後には歯科医師不足が懸念される

医師



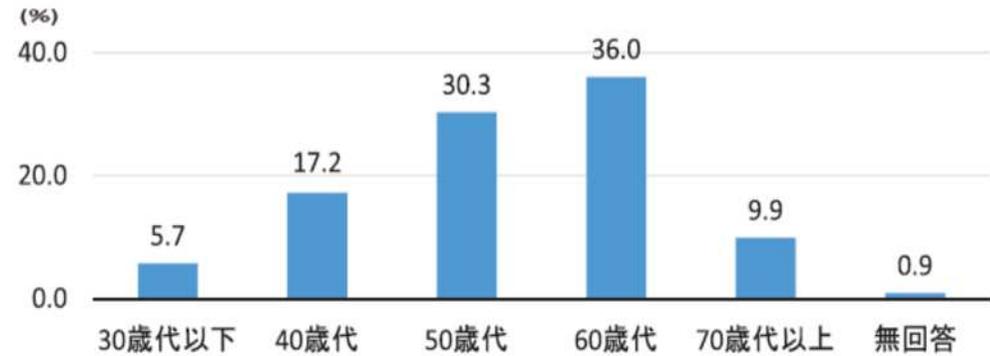
薬剤師



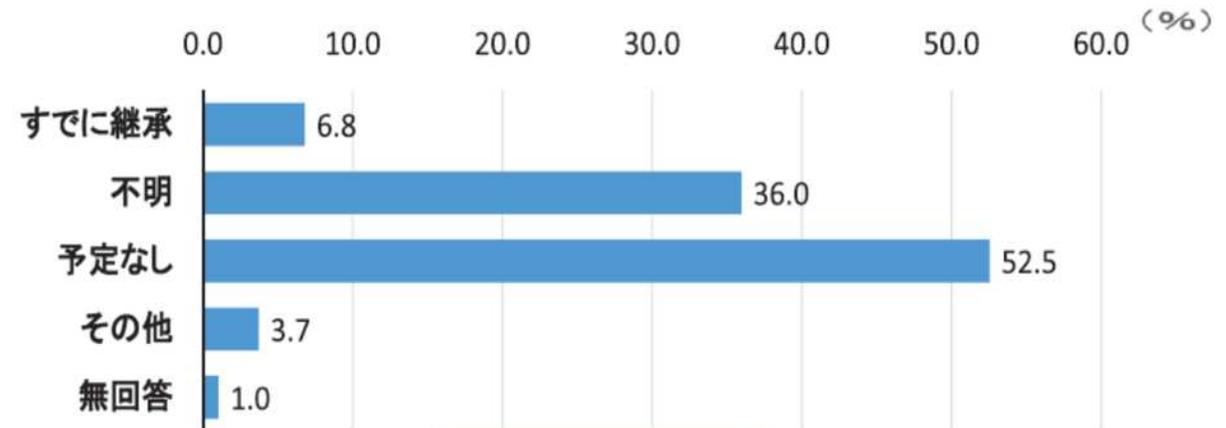
出典: 日本歯科医師会 歯科口腔保健・医療に関する動向より

開業歯科医
 (歯科診療所開設者) の
 46.8%が60歳以上。
 77.1%が50歳以上。
 9割は継承が決まらない

■ 歯科診療所管理者の年代及び将来の継承の予定



管理者の年代



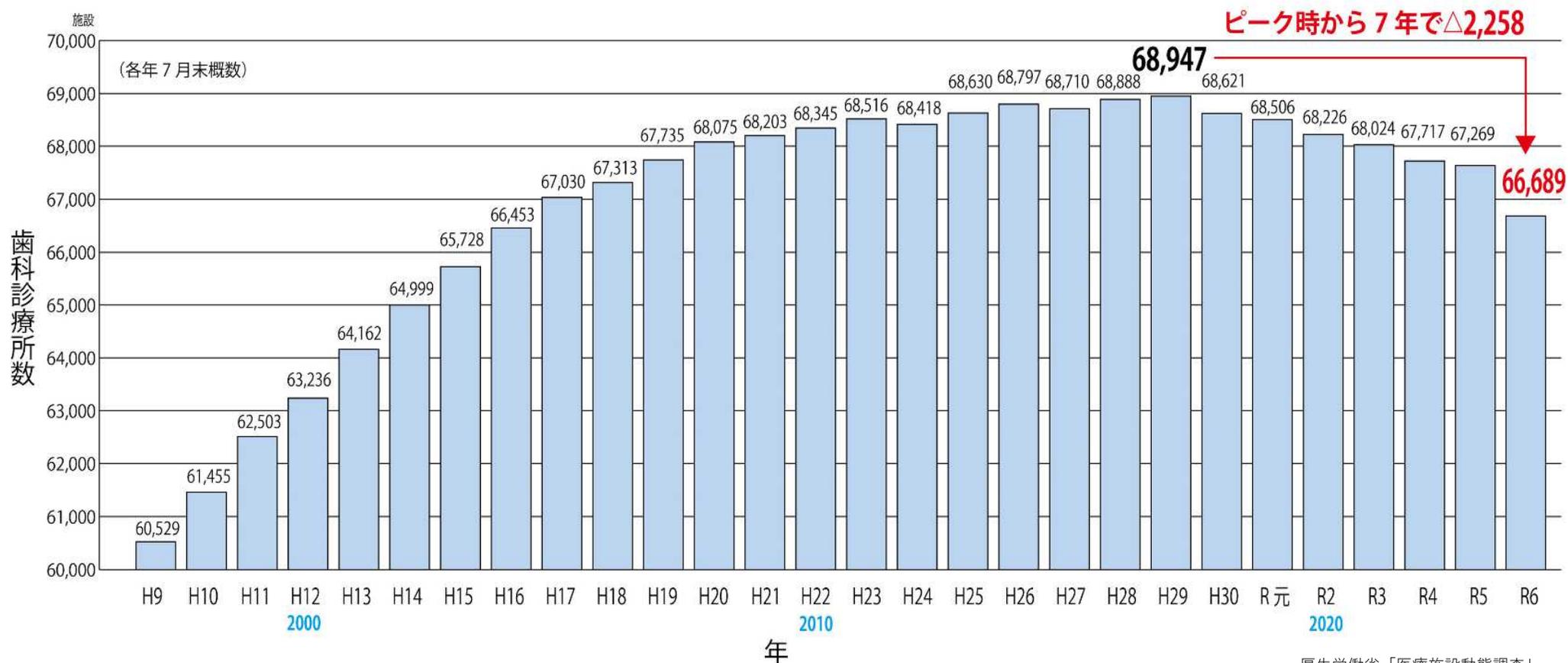
将来の継承の予定

日本歯科医師会会員である歯科医療機関の管理者
 いわゆる開業歯科医約1万名にアンケート調査

地域包括ケアシステムにおける「かかりつけ歯科医師が果たす役割と今後の働き方等」(2020年3月)に関する調査 日本歯科総合研究機構

歯科診療所は約6万7千施設。すでに減少が始まっている！

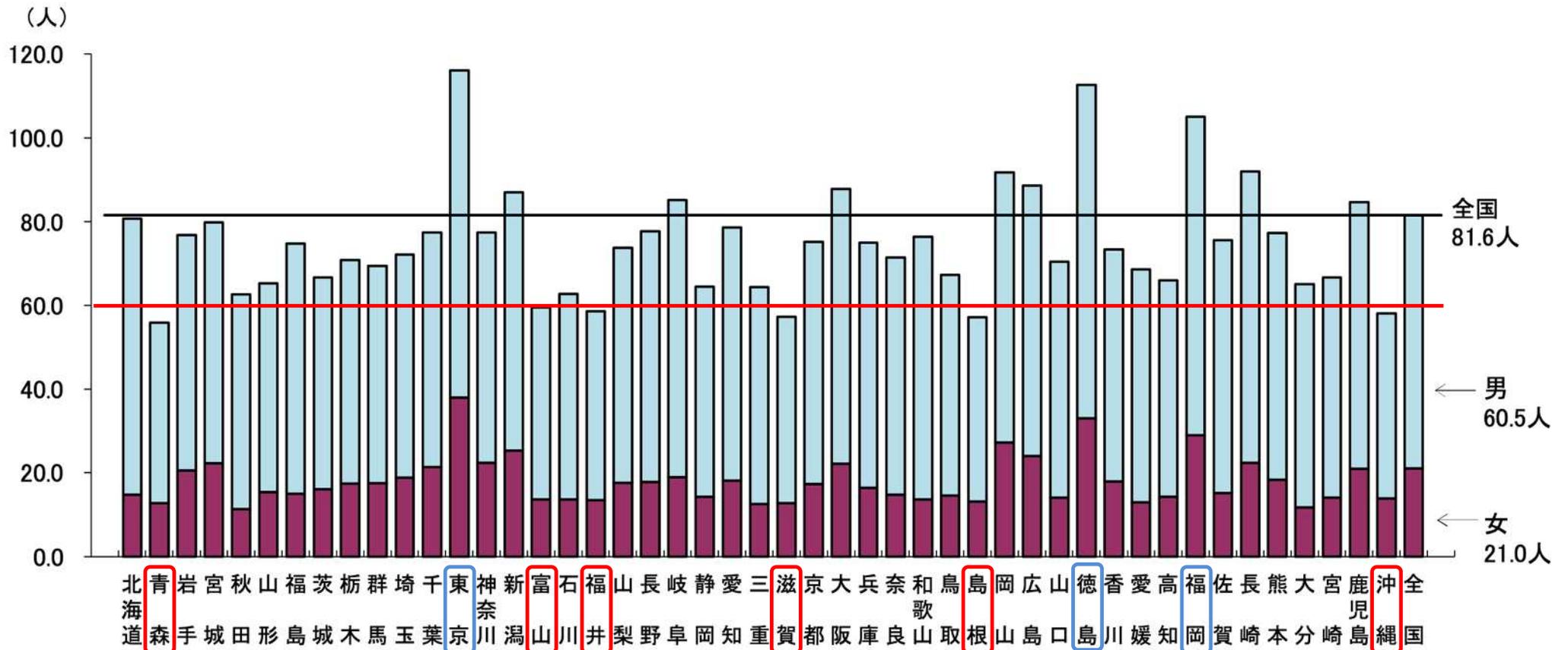
■ 歯科診療所数の年次推移



厚生労働省「医療施設動態調査」

歯科医師配置偏在の問題(最大で2倍以上の地域間格差)

■ 都道府県別人口10万人対歯科医師数 (令和4年)

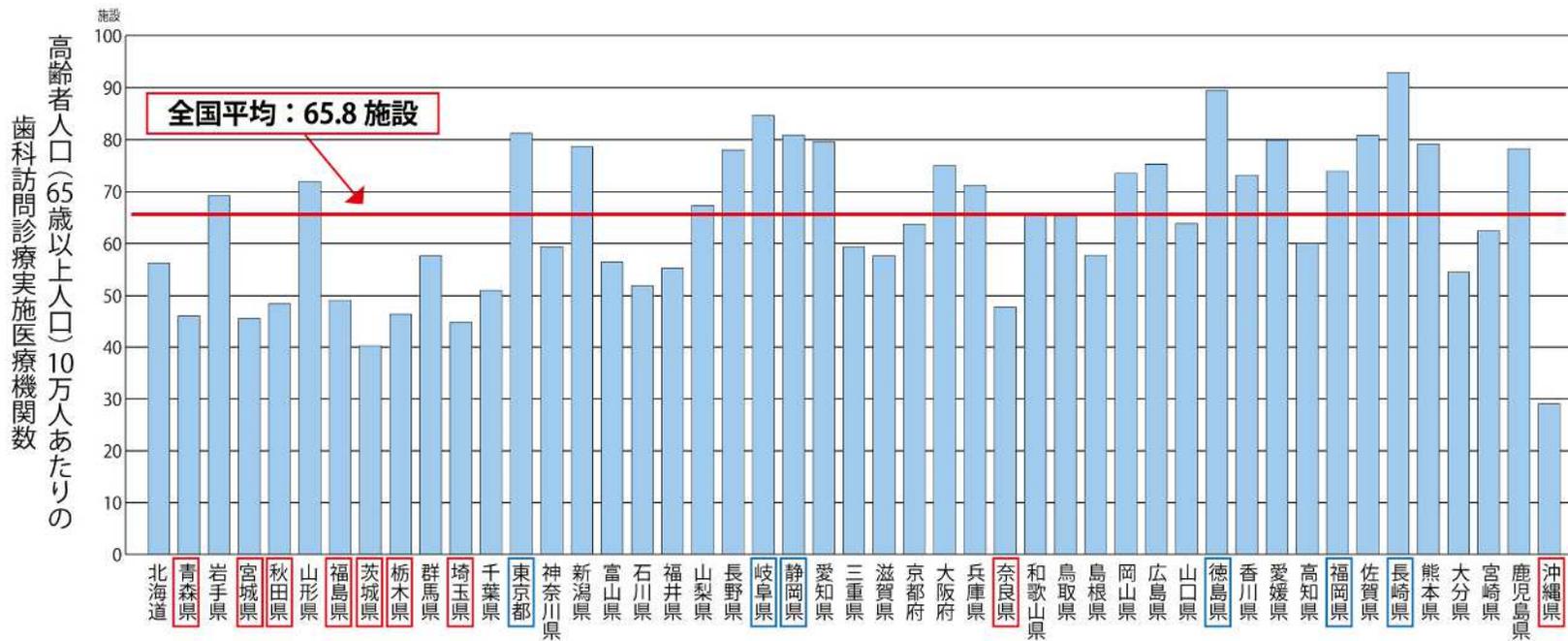


出典: 厚生労働省「令和4年 医師・歯科医師・薬剤師調査」より

要介護者に対して歯科訪問診療を実施しているのは、 全国平均で高齢者10万人あたり約66施設

■都道府県別の歯科訪問診療実施医療機関数（令和2年）

- 高齢者人口(65歳以上人口)10万人あたりの歯科訪問診療を実施している医療機関数は、全国平均で約66施設であった。
- 4年前（平成28年）の同様の調査では全国平均が約40施設であったので、4年間で65%増加している。
- 最も多い長崎県で約94施設、最も少ない沖縄県で約29施設と都道府県によってばらつきがみられる。

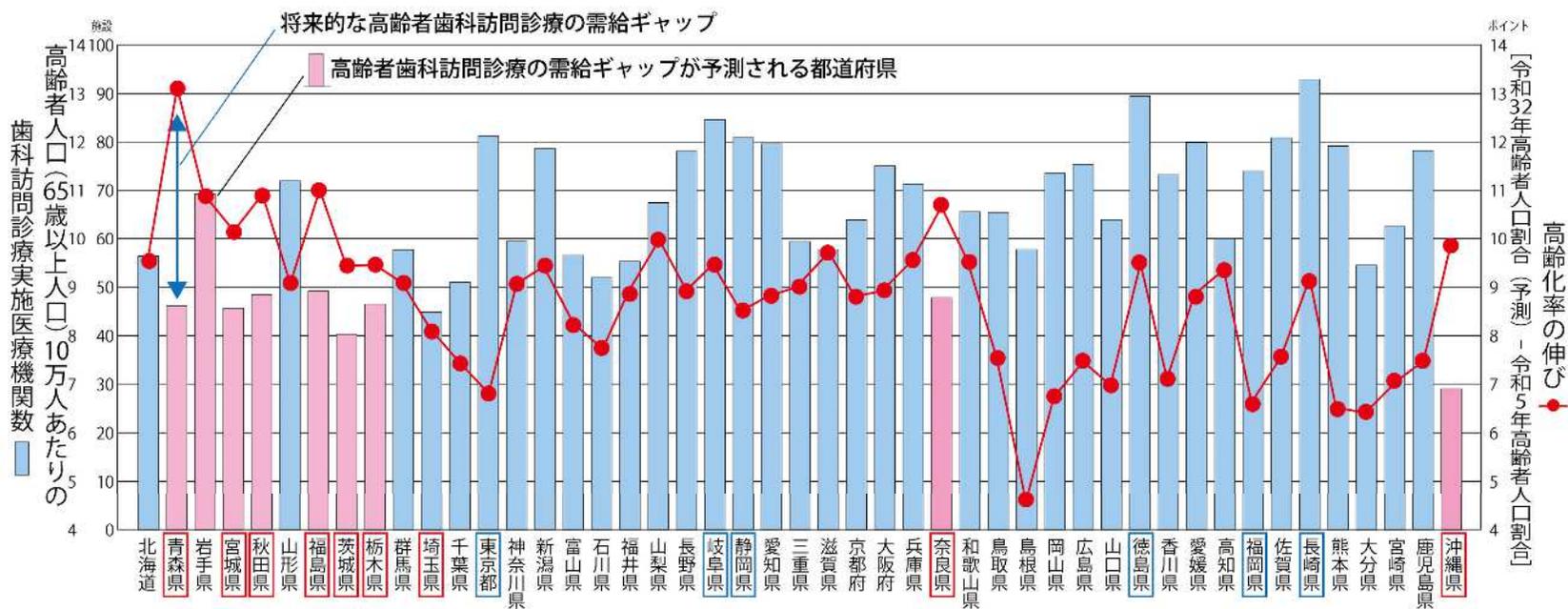


厚生労働省「令和2年 医療施設（静態・動態）調査」と総務省統計局「人口推計2020年」より日本私立歯科大学協会が作成

高齢者の増加率が高くて 高齢者への歯科訪問診療実施医療機関数が少ない地域は 訪問診療ができる歯科医師の育成・増員が急務

■ 都道府県別の歯科訪問診療実施医療機関数（令和2年）と高齢化率の伸び（令和5年（2023年）▶令和32年（2050年）予測）

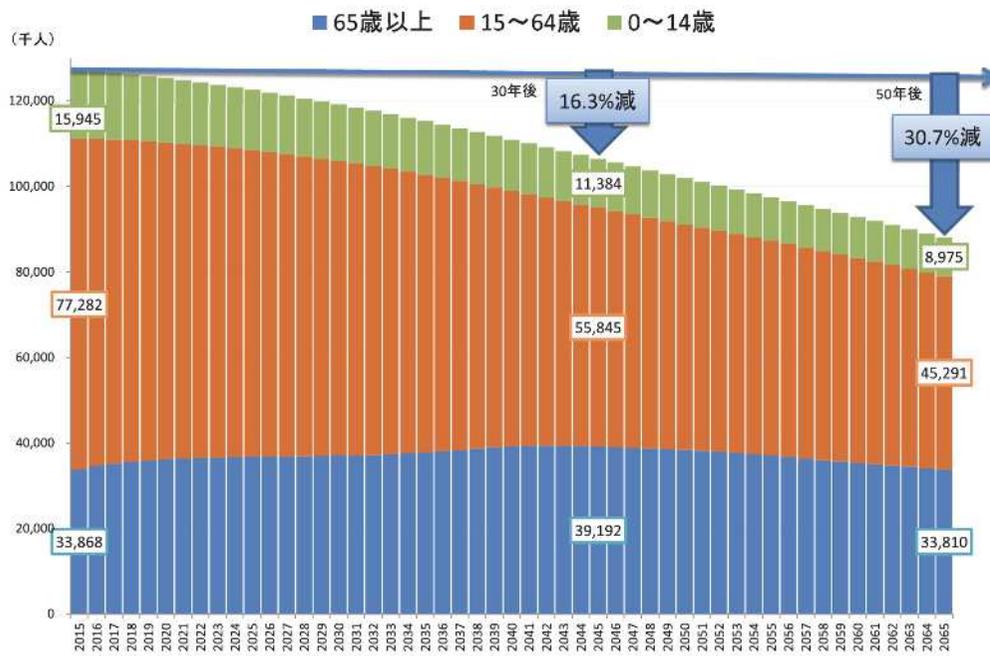
● 都道府県別に65歳以上の人口割合を令和5年（2023年）と令和32年（2050年）予測で比べてみると、地域ごとの高齢化の伸展スピードがわかる。※折れ線グラフの数値は〔令和32年高齢者人口割合－令和5年高齢者人口割合〕



棒グラフ：厚生労働省「令和2年 医療施設（静態・動態）調査」と総務省統計局「人口推計2020年」より日本私立歯科大学協会が作成
折れ線グラフ：令和5年は総務省「人口推計」、令和32年は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5(2023)年推計)」

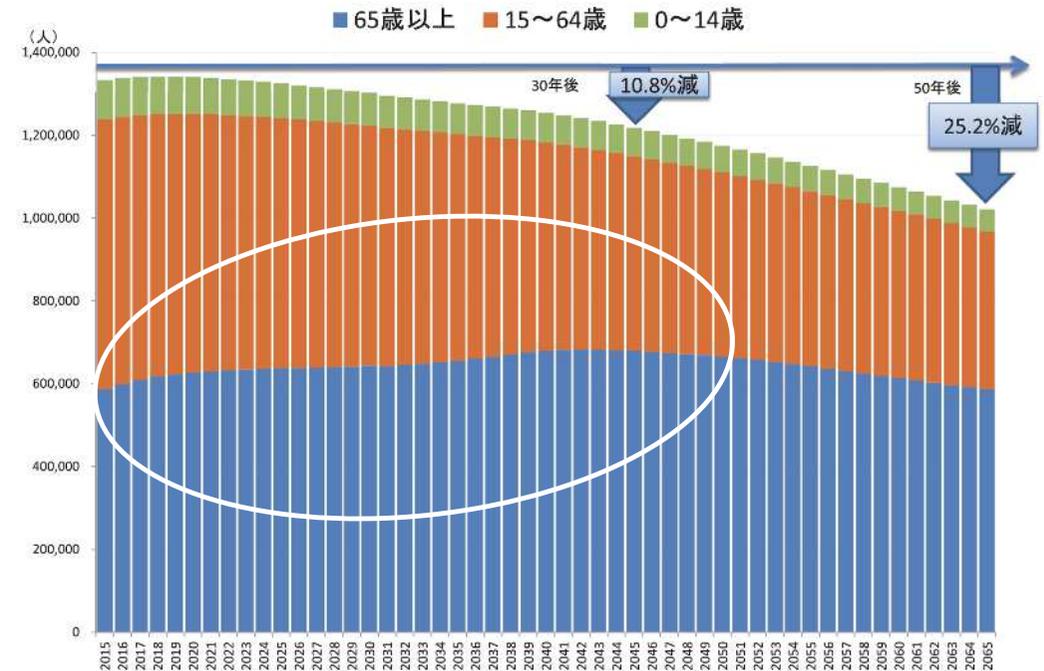
人口が減少しても高齢者の**歯科**患者数は増加が続く

■ 今後50年後までの人口推計



国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成29年推計）」より日本歯科総合研究機構作成

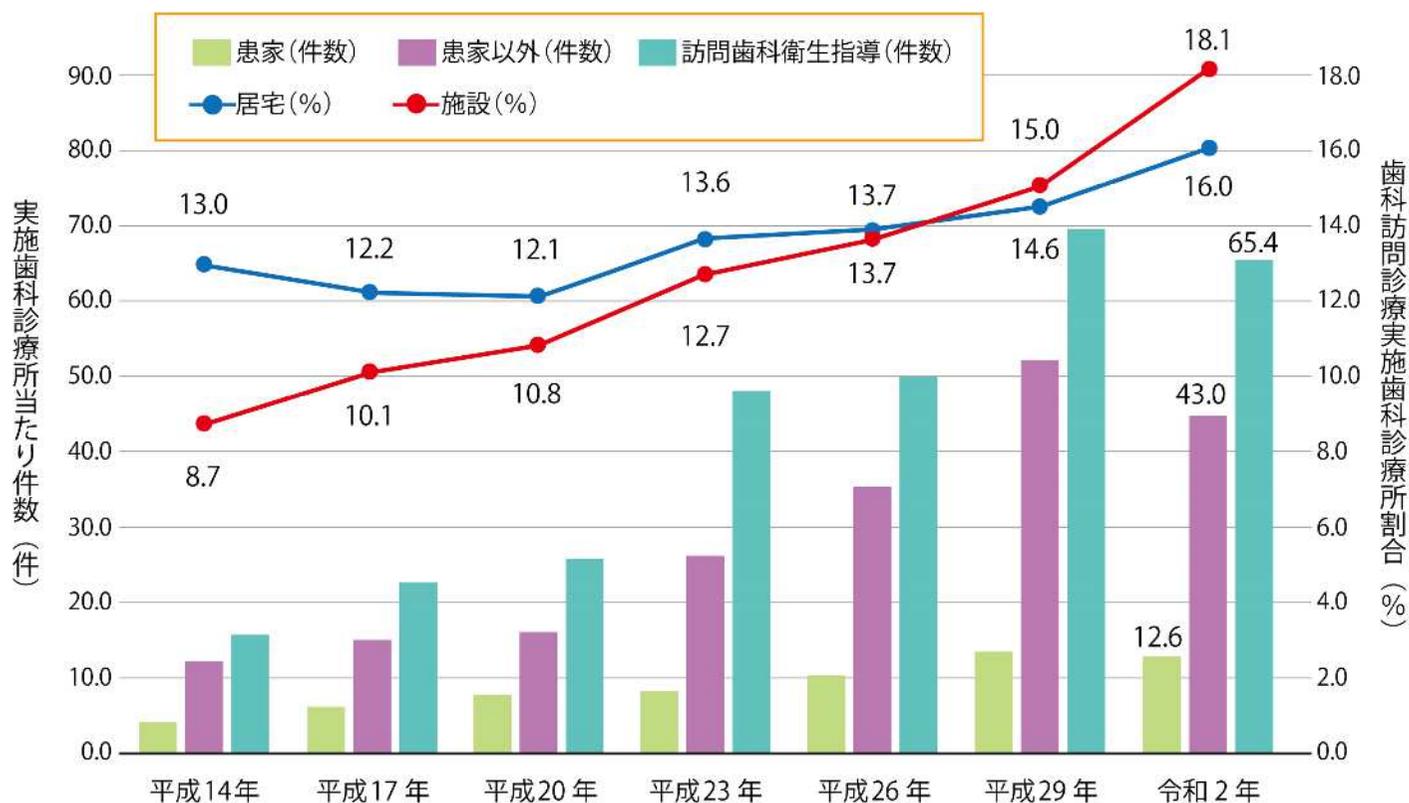
■ 今後50年後までの歯科診療所患者数推計



国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成29年推計）」および厚生労働省「患者調査」より日本歯科総合研究機構作成

いま、歯科に望まれているニーズに応じて 「歯科訪問診療」をするためには、歯科医師が足りない

■ 居宅・施設別の実施歯科診療所割合と実施歯科診療所あたりの実施件数経年推移



厚生労働省「医療施設静態調査」より
※令和2年の「患家以外」と「施設」は
「病院・診療所」と「介護施設等」を
合わせた数字

むし歯を治すだけじゃない！新たに広がる歯科医師の領域

災害歯科



摂食・嚥下リハビリテーション



睡眠歯科



インプラント



顎関節症



再生歯科 (歯牙・歯周組織の再生)



スポーツ歯科



歯科麻酔



地域から行政まで、歯科医師の活躍の場は多岐にわたる

学校歯科医

- 学校（小中高）で歯科健康診断や歯科保健指導、歯科保健教育などを行います。
- 普段は歯科医院等で勤務し、健診時に学校へ出向く非常勤職員（公務員）です。

産業歯科医

- 塩酸、硫酸などの有害物質を取り扱う特定の業務に従事している労働者に健康診断を行う歯科医師です。
- 事業所に出向いたり勤務先の歯科医院を受診してもらって検診、アドバイスなどを行います。

警察歯科医

- 事件や災害等で亡くなった方の歯型や治療痕から該当者の確認を行います。
- 東日本大震災等における犠牲者の身元確認でその有用性が明らかになっています。

歯科医官

- 歯科医師免許を持った陸海空自衛隊の幹部自衛官です。
- 自衛隊の病院や基地の医務室などで歯科健康診断、診療、健康管理を担います。

行政・保健所 歯科医師

- 厚生労働省や地方自治体・保健所などにおいて、保健医療や公衆衛生の分野で、口腔に関する専門知識を活かし、行政官として歯科医師が活躍しています。

歯科医師の需要は高く、求人倍率はなんと13倍以上！

■私立歯科大学・歯学部卒業生への求人状況（2024年3月卒業）

【件数ベース（11歯学部）】

卒業生数	求人件数	求人件数
1,010人	7,342件	7.27 件/人

【人数ベース（10歯学部）】

卒業生数	求人人数	求人倍率
906人	11,863人	13.09倍

一般社団法人 日本私立歯科大学協会調べ

○参考 大卒求人倍率（2024年3月卒業予定）

民間企業 就職希望者	求人総数	求人倍率
45.1万人	77.3万人	1.71倍

株式会社リクルート リクルートワークス研究所調べ

歯科医師はやりがいがあり安定性も高い生涯続けられる仕事

就職率100%!

- ・開業も含め、歯科医師の就職率は100%
- ・歯科医師の求人は多く、私立歯科大学・歯学部への求人倍率は**13倍以上**
- ・このご時世で「歯科医師国家資格」は大変心強い資格といえる

生涯続けられる仕事

- ・歯科医師免許はライセンスの更新や定年のない生涯有効な国家資格
- ・歯科医院で働いている70歳以上で現役の歯科医師は1万人以上
- ・自分で定年を決められる

国民の健康とQOL向上に直結したやりがいの高い仕事

- ・食べる、話す、息をするといった大切な機能を持つ口の健康を支えるのが仕事
- ・子供から高齢者まで、口の健康を維持・改善することで健康とQOL向上に貢献
- ・治療によって目に見えて患者のQOLが上がるため、感謝されることが多い

